

アクティブ・サイエンス部

部員数

1年(1名) 2年(9名) 3年(4名)

活動内容

- ・活動日：毎週月、水、金
- ・平日の活動内容：研究活動、各種実験など
- ・参加行事：研究発表会、桜高祭展示

高文連行事「実験・実習セミナー」

研究内容

●物理班

「ガウス加速器の加速が限界になる条件について」

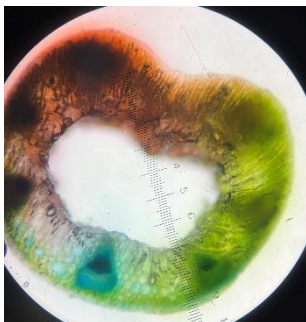
ガウス加速器には加速しなくなる入射速度があり、どのような要因によってその速度が決まるのか調べた。(12月14日石川地区高校生徒物理研究発表会スライド発表)



●生物班

「シロツメクサの維管束数を決める要因」

葉柄の維管束の数には3～12と多様である。どのように維管束数が決まるのか調べた。(12月14日いしかわ高校生物のつどいスライド発表、3月16日日本植物生理学会高校生生物研究発表会発表)



●化学班

「メタノールから水素を発生させる触媒」

炎色反応ろうそくの実験をしているとき、メタノールから水素が発生することに気づいた。今年度は塩化アルミニウムが触媒としてはたらいっているのか調べた。(12月22日石川地区中学高校生徒化学研究発表会スライド発表、2月9日北信越筑高校自然科学部研究発表会発表)



●中学生体験入学での部活動体験

炎色反応ろうそく、象の歯磨き粉、ルミカライトの実験など本校定番の実験を行っています。



炎色反応ろうそく

象の歯磨き粉



日本植物生理学会(金沢大学)

ポスター発表では、学会の研究者から助言を受けられました。他校の発表では、植物を丁寧に観察し、疑問を解決する方法を工夫している様子が勉強になりました。



北信越ポスター発表(富山県民共生センター)

様々な質問にも的確に答えていました。交流会では4県クイズで盛り上がりました。

